回覧　富士見集会所だより

発 行 日；平成２６年１月１０日　　平成２５年度第１０号（１月号）
発　　行；狭山市立富士見集会所　〒350-1306 狭山市富士見１－１－１８
TEL＆FAX；０４－２９５９－６２３０
E－Mail ；fujimi-s@city.sayama.saitama.jp

新年おめでとうございます

昨年を振り返ると、人権にかかわる残念なこととして、高校での体罰を苦にした生徒の自殺、柔道界での暴力問題等がありました。また、１０月１６日、台風２６号に伴う記録的な豪雨により、伊豆大島で大規模な土石流が発生し、３６名がなくなり３名が行方不明という大変痛ましい出来事もあり、命の尊さ、人権の大切さを考えさせられることの多い一年でした。一方、仙台を本拠地とするプロ野球楽天イーグルスは、田中投手が２４勝無敗という連勝の新記録をつくり、リーグ優勝するとともに初の日本一となり、明るい話題を提供し震災被災地のファンを大いに勇気づけてくれました。政治では、参院選で自民、公明両党が過半数を獲得、消費税率８％への引き上げ決定、特定秘密保護法案の可決などがありました。こうした中、発表された年末恒例２０１３年の世相を表す漢字一字は「輪」でした。「お・も・て・な・し」が流行語となった「２０２０年五**輪**の東京開催決定」、富士山の世界文化遺産登録やサッカーワールドカップへの出場決定などで「日本中が**輪**になって歓喜した年」、相次ぐ自然災害後の「支援の**輪**の広がり」が理由として挙げられたそうです。富士見集会所もふじみ寿大学のバス見学会で山梨県へ行き、世界文化遺産に登録された富士山について学習し、その輪に加わりました。

この一年、利用者の皆様にはご迷惑をおかけすることも多かったことと思いますが、皆様のご理解とご協力、またご尽力のおかげで、２５年度の当集会所事業も、ここまで計画通りに進めることができました。さて、１月１日、天候にも恵まれ平成２６年がおだやかに明けました。新年にあたり、この一年が、良い一年となりますように心からお祈りしたいと思います。

今年も、富士見集会所は、同和問題の解消を軸とする人権教育・啓発事業の推進と、皆さんが楽しく学ぶ富士見集会所ということで、様々な人たちとの出会いの中で、思いやりの心を大切に、人々が楽しく集い、楽しく学び、差別や偏見のない豊かで明るい地域社会づくりに少しでも貢献していくことができたらと思っています。

微力ではありますが、我々職員一同、力を合わせて集会所の仕事に取り組んでいきたいと思いますので、本年もよろしくお願い致します。

〔富士見集会所運営審議会〕・報告

２５年度富士見集会所利用集計（4月～10月）		
開所数	利用回数合計	１，５６６回
２０１日	利用人数合計	１６，６８２人

１２月１６日（月）に２回目の運営審議会が行われました。会議では、集会所主催の事業の状況、予算の執行状況、全体の利用状況について事務局より説明をし、委員の皆様にご審議をいただきました。また主催事業をより充実させるためにということで意見交換を行い、特に、来年度に向けて、青少年事業について内容の充実や市民文化祭への参加者を増やすための工夫等について貴重なご提言をいただきました。このことを参考に、これからも創意工夫をしながら、多くの皆様に参加ご利用していただけるように努力していきたいと思います。

人権標語　　ごめんねは　心のとびらを　あけるかぎ

報告：《地域ふれあい青年講座》

１２月２１日（土）狭山工業高校において、工業高校の先生方の指導で行いました。工業高校にお世話になって、今年で５回目になる事業です。６名が参加した①のオリジナルエンブレム・キーホルダーづくりは、溶かした金属を、特殊な砂で固めた型に流し込んで作るもので、小学生も中学生も大人も、皆真剣に取り組んでいました。特に、参加した小学生は硬く固まった砂に興味津々でした。最後に、冷めた金属を丁寧に磨いて仕上げ、世界に一つだけの自分のエンブレム（ネームプレート）の完成です。皆さん満足そうに持ち帰りました。②のLEDでペットボトルイルミネーションづくりでは、指導の先生や高校生の皆さんの補助を受けて、ハンダ付けなど細かな作業に、馴れない手つきながら一生懸命取り組んでいました。参加者は５名と少なかったのですが。クリスマスシーズンにぴったりのすてきなイルミネーションができました。③のペットボトル糸車の走行距離大会では、大人と子供を交えて１０名での競走でしたが、今年は走らせ方が大変慎重で、走行トラブルも少なく、最高記録は昨年を４ｍ以上上回る１２ｍを記録しました。その後、子供たちは、高校生自作のＵＦＯキャッチャーや、自作ロボットを、操作を教わりながら動かし、楽しみました。各講座とも、狭山工業高校の生徒さんが加わり大いに活躍してくれたことも行事の意味として大きなものがあったと感じました。

最後になりますが、当日午前は高校説明会があったにもかかわらず快くお引き受けいただき、ご指導いただきました狭山工業高校の先生方、生徒のみなさん、そして、会場の提供や材料のご負担をいただいたうえに、最初のあいさつから各講座の様子を見ていただく等お付き合いをいただきました校長先生、本当にありがとうございました。心から感謝申し上げます。

①の講座の様子

②の講座の様子

③の講座の様子

報告：＜冬休み数学教室＞

冬休みに入ってすぐの１２月２５･２６日、延べ２５名の中学１年生が参加して数学の学習が行われました。あいさつのあと、指導者の先生の楽しい導入で学習意欲を高め、生徒たちは、皆真剣に、集中して課題に取り組んでいました。おかげで、正の数・負の数、文字式、方程式、比例と１・２学期の復習を予定通り行うことができました。

学校を離れての学習でしたが、この時間がこれからの学習に活かされることを願っています。

〈富士見集会所主催事業＝参加者募集〉

「認知症サポーター養成講座」

◎内容　認知症を正しく理解し、認知症の方やその家族を温かく見守る応援者をを養成する。

◎日時　平成２６年２月７日(金)
１４：００～１５：３０

◎場所　富士見集会所

◎対象　市内在住・在勤の方（成人一般）
３０名（先着順）

◎申込　１月１７日（月）～
富士見集会所へ直接電話してください。
（日曜日及び１７時１５分以降は除く。）

【 １月のこれからの予定と２月当初の予定 】

1／11日	土	小学生ふれあい教室 「新春マジックショー」	2／1日	土	第２回「中学生体験教室」 「セラピー犬って何？」
１5日	水	人権問題講演会（狭山市市民会館） 「いじめなんかじゃ、負けるものか！」 講師　　原田大二郎氏	7日	金	地域ふれあい講座 「教養講座」 『認知症サポーター養成講座』
			8日	土	小学生ふれあい教室